



流の
先に

～愛知用水から生まれる爽やかさ～

世界中で愛される コカ・コーラ

愛知県西部、半島地形で大きな河川がない知多地域は、干ばつや飲み水の不足に長年苦しんできました。これを解消するため、1961年、木曾川の水を知多地域などへと供給する総合開発事業として愛知用水が完成しました。今では一帯に数多くの工場の進出を促し、我が国屈指の工業地帯を形成するなど

地域の経済・産業の発展を支えています。今回は、愛知用水の流れの先にコカ・コーライーストジャパン（CCEJ）東海工場を訪ねました。



東海工場と愛知用水

コカ・コーラの歴史は古く、1886年に米国ジョージア州アトランタで生まれました。日本で製造されるようになったのは60年ほど前から。今回訪れたCCEJ東海工場は、国内の製造拠点の一つとして昭和44年から稼働しています。製造担当の平田さんにお話を伺いました。

まず気になったのは東海工場の立地、愛知用水の供給と関係があるのでしょうか。

「道路や港湾など交通の便が良いことをもちろん考慮していると思います。また、愛知用水によって水の安定供給が望めることに加え、コストについても安価であるため有利と判断したのでしょう。」

この立地を活かして、東海工場ではコカ・コーラはもちろん、国内で販売されるブランドのほぼすべ

てを製造することができます。製造された飲料をペットボトルや缶の容器に充填して製品にする工程までを東海工場で一貫して行い、愛知、岐阜、三重、静岡、山梨の各県を中心に市場へと出荷されます。



飲料を充填する機械「フィラー」

水に対するこだわり

消費者の信頼に応えるため、食品安全をはじめとする品質の維持・向上はもちろんですが、環境保全、地域交流などへの取り組みを重視しているそうです。中でも環境保全への取り組みがとても特徴的で、水の使い方に対するこだわりが表れています。

「洗浄など製造段階で使用する水と同量の水を自然に還す取り組み「Water Neutrality」を強化し、2020年までに水使用プラスマイナスゼロの実現を目指します。これには、負荷を与える絶対量を減らす必要があります。特に、製造過程での水の使用量を徹底的に削減することに力を入れています。」

取り組みをいろいろと積み重ねても、100%元通りの自然な状態へと還すのは至難の業ではないでしょうか。

「ご指摘のとおり、どうしても還元できない部分はあります。これを補うために、新しい水を育む活動をしています。東海工場の水源域の一つである岐阜県恵那市でのコカ・コーラの森プロジェクトも取

り組みの一つです。」

この取り組みは、一般の方を募って、有名な坂折^{さかおり}棚田の近傍の山林で、間伐体験などの森づくりを行うものです。棚田では、春には田植えを、秋には収穫を体験することができるほか、地元産の食材を使った食事をするなど特色ある活動を行っています。地域や市民と一体となった環境保全への取り組みは、中山間地域¹における先進事例として注目されているそうです。



Water Neutralityの説明に聞き入る見学者の親子

地域とともに歩む工場

「私たちは地域のみなさまとのコミュニケーションを大切にしています。地域とともに歩いていくため、多くのみなさまに工場へと足をお運びいただきたいです。」こう語るように、今春、工場見学をより充実させるために東海工場の大規模リニューアルと見学日の見直しが行われました。このため、幅広い世代から多くの方々が来場するようになり、好評を博しているようです。

今回のような取材では設備などハード自体に注目



輸送効率や環境負荷を考慮して、プリフォーム(写真左)といういわばペットボトルの赤ちゃんの状態¹で工場へと運ばれます。工場で最終成形し、飲料を詰めると製品となります。

しがちとなりますが、東海工場では、ハードやソフトの根底にある想いに触れた気がします。例えば、丁寧に使う、汚さない、きれいにして自然に還すという水循環の基本に忠実であること、事業活動を営む地域との連帯を強く意識されていることなどを感じました。

こうした想いを込めて、東海工場は、愛知用水の流れからたくさんの「おいしさ」、「爽やかさ」を全国の消費者の元へと今日もまた送り届けています。



製造担当の平田さん(写真右)と見学担当の内山さん

¹ 平野の外縁部から山間地。中山間地域は、国土面積の約7割、全国耕地面積の約4割、総農家数の約4割を占めている。(農林水産省ホームページをもとに加工)

Coca-Cola East Japan 東海工場に行こう！

あなたもコカ・コーライーストジャパン東海工場を見学してみませんか。コカ・コーラをはじめとする飲料が製造される過程が見学できるのはもちろんのこと、タブレットを活用したコカ・コーラ検定など体験型コンテンツがもりだくさん。工場を知れば、いつもおいしい飲み物が一層おいしく感じるはず。事前申込が必要です。入場無料。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<http://www.ccej.co.jp/plant/>

